

今月の図書館

鳥取大学附属図書館中央図書館からのお知らせ

【コンテンツ】

- 電子ブック試読サービス終了間近
- 長期貸出の返却期限迫る！
- 文献複写の無償化を試行します
- 雪の日は臨時閉館にご注意を
- ACS・OUP個別ジャーナルに係る学内ニーズ調査(アンケート)について
- 今月の展示等
- 今月の新着図書から

電子ブック試読サービス終了間近

Maruzen eBook LibraryとKinoDenの電子ブック試読サービス期間は**1月15日(木曜)まで**です。期間中は鳥取大学では購入していない電子ブックを読むことができます。また電子ブックの購入希望リクエストも可能です。

※学外から接続する場合、学認(GakuNin)経由で鳥大IDとパスワードを入力することでご利用いただけます。



Maruzen
eBook
Library



KinoDen



長期貸出の返却期限迫る！

冬休み長期貸出資料の返却期限日は、

1月9日(金曜)です。お忘れなくご返却ください。

貸出期間の延長手続きは、以下のMy Libraryから可能です。

<https://www.opac.lib.tottori-u.ac.jp/portal/portal/selectLogin/?lang=ja>



Library Calendar 2026

☆鳥取大学附属図書館 中央図書館 開館カレンダー Library Calendar☆

開館予定は変更される場合がありますのでご注意ください。
Opening hours may be subject to change at short notice.

日 / Sun.	月 / Mon.	火 / Tue.	水 / Wed.	木 / Thu.	金 / Fri.	土 / Sat.
				1 Closed	2 Closed	3 Closed
4 Closed	5 08:40-22:00	6 08:40-22:00	7 08:40-22:00	8 08:40-22:00	9 08:40-22:00	10 10:00-17:00
11 10:00-17:00	12 10:00-17:00	13 08:40-22:00	14 08:40-22:00	15 08:40-22:00	16 Closed	17 Closed
18 Closed	19 08:40-22:00	20 08:40-22:00	21 08:40-22:00	22 08:40-22:00	23 08:40-22:00	24 10:00-22:00
25 10:00-22:00	26 08:40-22:00	27 08:40-22:00	28 08:40-22:00	29 08:40-22:00	30 08:40-22:00	31 10:00-22:00
08:40-22:00	08:40-17:00	10:00-17:00	10:00-22:00	休館日 Closed		
日付 / Day	移動図書館車巡回日 (Tottori City Library Book Mobile) 12:30-13:00					

最新の情報は館内掲示やWebサイト(下記URL)をご確認ください。

<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/calendar/cen/calendar-2.pdf>



文献複写の無償化を試行します

学外から文献複写を手配した場合の費用は申込者の負担としていましたが、研究活動支援のため、教職員を対象とした文献複写サービスの無償化を試行的に実施します。

○試行期間 : 2026年1月1日から3月31日まで

*4月1日以降到着分は対象外

○対象者 : 鳥取大学教職員

○申込上限: 1人あたり5件まで

※一部対象外となる取り寄せもございます。申込方法など詳細は以下からご確認ください。

https://www.lib.tottori-u.ac.jp/news/2025/20251225_bunken.html



雪の日は臨時閉館にご注意を

例年、1月・2月は大雪による臨時休館や開館時間の短縮が発生しています。休館や閉館直前の決定となる場合もありますので、開館カレンダーに加え、図書館ウェブサイト・X公式アカウントにて開館状況をご確認いただけますと幸いです。

また、閉館時も利用可能な電子ブック・電子ジャーナルをぜひご利用ください。



ACS・OUP 個別ジャーナルに係る学内ニーズ調査(アンケート)について

現在、American Chemical Society(ACS)およびOxford University Press(OUP)の電子ジャーナルパッケージの契約について見直しを予定しており、両出版社の個別ジャーナルのうち、学内ニーズの高いタイトルを把握するための調査を実施しています。各部署で意見を取りまとめていただいておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

今月の展示等

学生図書館ワーキンググループ新年展示

学生図書館ワーキンググループ2026年初めの展示は、今年の干支にちなんだ「馬(午)」展示と、ワーキンググループメンバーの抱負にちなんだ本を集めた「新年の抱負」展示の二本立てです。展示の開始は1月下旬を予定しています。



国立女性教育会館コーナー&

環日本海交流室出張文庫



両コーナーの3ヶ月ごとの資料入れ替えに合わせ、展示を行います。国立女性教育会館コーナーの冬期資料テーマは「社会運動、働き方、一人暮らし、伝記(芸術家)」です。

今月の新着図書から

書名/著者等	出版社	請求記号
総記		
プログラミング知識ゼロでもわかるプロンプトエンジニアリング入門 / 掌田津耶乃著	秀和システム	007.13:Pur
ウェイリー版・源氏物語：「ゲンジ」は、こんなに面白い！：アンコール放送 / 安田登著；日本放送協会, NHK出版編集	NHK出版	080:NHK:(2511)
文学		
プロ作家が教える小説のつくりかた：書けそうで書けない人のための / 真代屋秀晃 [著]	エクスナレッジ	901.307:Pur
いつかみんなGを殺す / 成田名璃子 [著]	角川春樹事務所	913.6:Nar
哲学		
アーレントとテクノロジーの問い：技術は私たちが幸福にするのか？ = Hannah Arendt and the question of technology : does technology bring happiness? / 木村史人 [ほか] 編	法政大学出版局	118:Are
奪われた集中力：もう一度“じっくり”考えるための方法 / ヨハン・ハリ [著]；福井昌子訳	作品社	141.5:Uba
歴史地理		
縄文：革命とナショナリズム / 中島岳志 [著]	太田出版	210.25:Jom
私のアメリカ人文紀行 / 徐京植 [著]	みすず書房	295.3:Wat
社会科学		
プロジェクト大全：独創的な発想が最高の成果を生み出す / 金杉肇 [著]	日本実業出版社	336:Pur
成績だけが評価じゃない：感情と社会性を育む(SEL)ための評価 / スター・サクシュタイン [著]；中井悠加, 山本佐江, 吉田新一郎訳	新評論	371.7:Sei
自然科学		
実感する化学 / A Project of the American Chemical Society [原著]；[Bradley D. Fahlman代表執筆]；大西洋, 和田昭英訳	エヌ・ティー・エス	430:Jik:(1)
僕には鳥の言葉がわかる / 鈴木俊貴 [著]	小学館	488.99:Bok
技術		
金属材料の疲労破壊大全 / 林眞琴著	日刊工業新聞社	501.41:Kin
プラザ佐治と安田臣 / プラザ佐治の景観を活かす会編集	プラザ佐治の景観を活かす会	523.172:Pur
産業		
就農案内読本：農業を仕事にしたい人の完全攻略マニュアル	全国農業会議所	キャリア形成・就職活動支援コーナー 611.7:Shu:(25)
獣医腫瘍学テキスト = Textbook of veterinary oncology / 日本獣医がん学会著	ファームプレス	649:Jui
芸術		
会田誠のスクラップブック / 会田誠 [著]	講談社	708.7:Aid
時代のプリズム：日本で生まれた美術表現1989-2010 / 黒川典是 [ほか] 編集；逢坂恵理子 [ほか] 執筆；中野勉, クリストファー・スティヴンズ翻訳	平凡社	708.7:Jid
言語		
「わかってもらう」ということ：他人と、そして自分とうまくやっていくための言葉の使い方 / 川添愛 [著]	KADOKAWA	810.4:Wak
現代用語の基礎知識 / [編集自由国民社]	自由国民社	813.7:Gen:(26)

鳥取大学附属図書館 中央図書館：<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/>



X (Twitter): @TottoriU Lib



【お問い合わせ先】 広報特設班

〒680-8554 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101

TEL : 0857 (31) 5672 (内線7050)

FAX : 0857-28-6346

E-Mail : ac-shiryousa@ml.adm.tottori-u.ac.jp

(編集後記)

新年明けましておめでとうございます。2026年も鳥取大学附属図書館をよろしくお願いいたします。お正月気分もまだ明けやらぬ……と見せかけて、この時期は卒業論文など学位論文の提出が目前、あるいは論文提出後の発表会に向けての準備で慌ただしいという方も多いのでは。どうしても急ぎで必要な資料を探したり取り寄せたり、図書館でお力になれることがあるかもしれません。お困りの際はお気軽にカウンターまで、あるいはメールや電話でご相談ください。(s)